



# 三春中学校だより

第 53 号

発行日 平成30年12月20日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【2年生、アクアマリンへ行ってきました！ ～海を守るために山に木を植える。～】

道徳の授業だったかと思いますが、漁民がその海を守るために、海に注ぐ川の上流の山に木を植える運動をしているという授業を見たことがあります。また、『35億年の命』という教材がかつての国語の教科書にありました。生物と生物、生物と環境は密接につながっており、絶滅してしまった、あるいは、絶滅を危惧される生物も多くいて、理科においても、動物の分類や生態等について学び、生命の尊さや自然環境の保全等について学ぶ単元・題材が準備されています。



台風による事故防止のため延期されていた、いわき市の『アクアマリンふくしま』への校外学習を12月18日(火)に実施しました。教頭先生を代表に、新田先生、二瓶先生の理科教員の引率のもと、第2学年生徒全員が出かけた理科の校外での現場学習でした。

1年生の会津、2年生の仙台の学習旅行をよい機会とし、校外での学習の在り方や活動の仕方等について指導し、学習してまいりました。

今回の校外学習は、仙台から数段の進歩が見られたという報告を受けました。時間をきちんと守り、校外での学習上の約束をきちんと守り、学芸員の先生のお話をきちんと聞き、たいへん有意義な活動でしたという報告も受けました。かけがえのない『命』について改めて考える大切な機会ともなりました。

3月には、公共の場や機関を利用する、校外学習の総決算の場でもある修学旅行が待っています。校外での過ごし方、活動の仕方をさらに向上・進化させ、『忠恕』『探究』『必達』の精神がしっかりと身についた三春中学校の代表としての充実した修学旅行を期待いたします。

## 【運転手さん、食材納入業者さん、お世話になりました！～安全運転、安全・安心な納入～】

毎朝、スクールバスから降りてくる子どもたちとあいさつを交わすのが楽しみの一つですが、そんな子どもたちを安全に注意し各地区から乗せ送迎してくださっているのがスクールバスの運転手さんたちです。運転だけではなく、車掌さん役や、時には、人生の先輩として、公共の乗り物であるスクールバスの乗り方等についてお話いただくこともあります。

また、毎朝、校門に立っていると、おいしい給食のために、さまざまな食材を搬入くださる業者のみなさんもいらっしゃいます。子どもたちが行き交う道路を子どもたちの安全な通行に細心の注意を払っての運転です。

たくさんの方のおかげで、三春中学校の教育活動は成り立っています。今年1年、安全・安心に学校生活を送ることができたことに感謝したいと思います。ありがとうございました。

よいお年を。そして、来年もよろしく願いいたします。

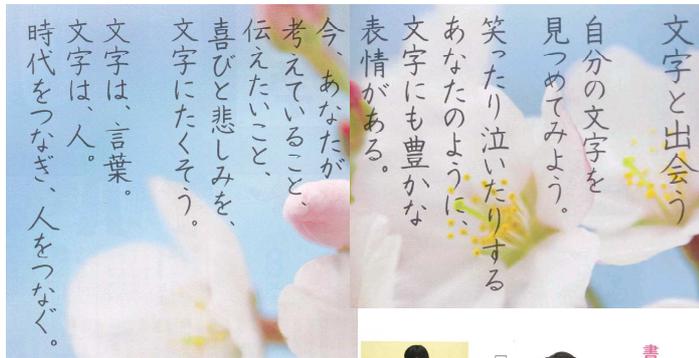


## 【書きぞめの指導をしています！～毛筆に生きる硬筆を学びましょう。～】

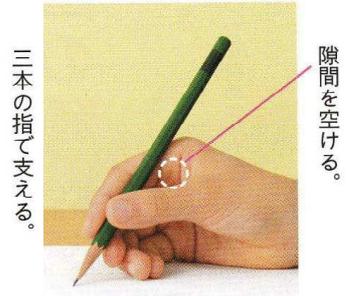
毎年、恒例になっている、日本の文化といわれる書きぞめの習慣。三春中学校でも、国語科の一環として指導にあたっています。課題の一字一字の字形や文字の大きさを見極め、配列・配置に注意し、課題と氏名の大きさや位置に注意しながら、各学年とも、『行書』の課題に挑戦しています。

『行書』は、速く書くためにつくられた書体ですので、姿勢をよくし、筆をまっすぐ立てたまま、一字一字をスムーズに書き上げようと、『筆脈』や『省略』を意識しながら書き進めています。また、整った字を書く上でも、筆が自由に、スムーズに動くことが大切であり、そのために、子どもたちは

毛筆の『軸』の中程を持って、書いている文字が見えるようにしながら書き進めることが肝心です。中学校での毛筆の学習は、『硬筆（鉛筆やボールペン、万年筆など）の基礎を養う』ことが目的です。整った文字を、速く書くための『行書』の学習は、硬筆で行う日頃の授業にも生きてきます。板書をスムーズかつきれいに見やすくノートに写せれば、50分という限られた時間を有効に使えますし、あとで見返すなどの振り返りと繰り返しの学習にもとても役立ちます。



お子様の筆記用具の頭はどちらの方を向いていますか。どのように鉛筆を握っていますか。整った字を書くためには、毛筆同様、手先が自由に動くための正しい持ち方があります。筆記用具の頭は、右に行ったり前に行ったりしていませんか。筆記用具を驚づかみにしていませんか。ちゃんと自分の方に傾いていますか。『上手』なことは素敵ですが、まずは、『整った』字を書くよう心がけましょう。そのための筆記用具の正しい持ち方を意識しましょう。



**【岩石・化石標本をご寄贈いただきました！ ～理科の学習に役立てます。～】**

先日、渡邊功一様・室井ミツ子様より、岩石の標本のご寄贈をいただきました。

お宅にあったものを、子どもたちの学習に役立ててほしいという申し出をいただき、ご寄贈いただいた次第です。理科室前の資料スペースに配置し、子どもたちの理科学習の貴重な資料として活用させていただきます。ありがとうございました。



**【足跡は消えても、努力した事実は消えません！ ～これまでよくがんばりました。～】**



校門での朝のあいさつのあと、校舎の外回りを眺めて回っていました。校庭には、誰かの足跡が点々と続いていました。

校長室の植木鉢では、先日行われた浮金小学校での『学校緑化研究会』の時にいただいた種が芽を出し、他にも、環境委員会の生徒さんからいただいた子だから草からこぼれた子だから草の子が土に根を張り生長しています。

これまで三春中学校では、子どもたちの“よりよく成長しようとする力”を信じ、心身の健全・健康な成長にむけさまざまな働きかけを学校として実践してまいりました。

その働きかけに対し、子どもたちは見事に答えてくれています。“がんばろう”という気持ちをもって、ある時は順調に、ある時はもがき苦しみ、それでも、“よりよく生きよう”という気持ちでがんばり続けています。そして、いたるところで、その子どもたちのがんばりは、それぞれ、その子らしい大きな“芽”となり、今も、成長を続けています。

校庭の足跡は時が過ぎれば、やがて消えてなくなりますが、三春中学校の生徒一人ひとりの“がんばり”は決して消えることはありません。大きな葉となり、きれいな花となり、それぞれの形で人として成長していってくれるものと確信します。『命の輝き』～共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに～。信じ、寄り添ってまいります！

